心理技術研究会主催　特別ワークショップ（オンライン）

# システムとして捉える②：コミュニケーション

本ワークショップは、家族療法・システムズアプローチの土台であるシステム論を学ぶものです。その第２弾として、人と人とのやりとり（コミュニケーション）をシステムとして捉え、一つひとつのメッセージの意味や影響だけでなく、それらが人間関係のシステムの中でどのような機能を果たしているのかを理解することを目的とします。

①では、家族や組織を一つの「システム」として捉える視点を学びました。本ワークショップでは、その視点をさらに発展させ、人と人とのコミュニケーションをシステムの働きとして理解する方法を学びます。家族療法では、一連のコミュニケーションを「誰かが働きかけ、そのやりとりが一定の形で収束するまで」の流れとして捉えます。この流れは、例えば意見の対立によって緊張が高まっても、誰かが譲歩したり話題を変えたりすることで関係が元の状態へ戻るという、システムが安定を保とうとする働き（ホメオスタシス）を示しています。このように、家族のコミュニケーションがシステムの機能を示し、これを理解するためにセラピストが情報を集めアセスメントすることになります。

導入の講義として、対人コミュニケーションとその見方、システムの機能の一側面として見られるようにするポイントなど、入門・基礎的な内容を扱います。今回も参加者が持ち寄った複数の人のコミュニケーションの例を題材に、システムとしてどのように捉え、実践に活用していくかを深めていきます。②からでも可能ですので、ぜひご興味のある方はご参加ください。

※参加者には、A4 一枚以内に簡単にまとめた、家族など複数の人のやりとりの具体例をご準備いただきます。申込後に詳細をお知らせいたします。

◇WS の内容（予定）◇

☆導入の講義：家族療法のコミュニケーションの捉え方、システムの一側面・機能としてのコミュニケーションと、そのアセスメント

☆ワークの進め方の説明と題材事例の選定

☆さまざまな具体例をもとにしたコミュニケーションとそのシステム把握のワーク＆解説

■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

◇参加条件：対人援助職として臨床実践に携わっている方、または大学院生などこれに準じる方

◇日時：2027 年 1 月 11 日（月・祝）　10：00～16：00

◇会場・方法：zoom によるオンラインで実施

◇講師：中野真也（国際医療福祉大学／日本家族療法学会理事・認定スーパーヴァイザー）

◇参加費：5000 円　　◇定員 20 名

◇申込み方法：下記メールアドレスに、①お名前、②ご所属、③職種、④これまでのシステムズアプローチや家族療法などの研修・学習経験（なくても可）、を明記の上、お申込みください

shinrigijyutukenkyukai115@yahoo.co.jp

注１：参加費は事前振込となります。申込後に振込口座をお知らせいたします

注２：当方の都合による中止以外は参加費の返金は致しません。予めご了承ください

■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

## ☆オンライン開催にあたっての注意事項☆

ワークショップに参加するにあたり、守秘義務と個人情報の保護について十分に理解し、以下の項目を遵守してください。申し込みをされたことによって、了承したものと見なします。

1. ワークショップ中に知りえた個人情報および参加にあたっての必要な情報（zoomのURL、ID、パスワード等）を、第三者（SNS 等を含む）に漏洩しないこと。
2. 録画・録音・撮影を行わないこと。
3. ウィルス対策がなされている端末の使用および、不特定多数の者が利用可能な公衆無線 LAN を使用しないこと。
4. 参加にあたり、第三者が同席および視聴をしないこと。
5. 参加にあたり、表示される氏名を申し込み時のものにすること。
6. ワークショップ中は、講師やスタッフの指示に従うこと。
7. 事前申し込みでの参加のみとし、参加費の振込期限は 1 月 6 日（水）までとなります。それまでに参加費を振り込むこと（期限までにお振込がない場合にはキャンセル扱いになります）。